

平成 21 年第4回庄原市議会定例会

一般質問通告者 及び 質問事項

6月23日～6月24日

質問順位

- | | |
|-----------|----------|
| 1. 藤木邦明 | 2. 横路政之 |
| 3. 小谷鶴義 | 4. 門脇俊照 |
| 5. 中原巧 | 6. 藤山明春 |
| 7. 谷口隆明 | 8. 岡信吉 |
| 9. 名越壽 | 10. 福村二徳 |
| 11. 林高正 | 12. 赤木忠 |
| 13. 宇江田豊彦 | |

庄原市議会

平成21年6月定例会 一般質問

順位	質問議員	項目	ページ
1	藤木 邦明	箱わな、捕獲柵の設置について	1
		イノシシ駆除の徹底について	1
		出産医療の再開等について	1
		奨学金制度の創設について	1
		西城旧三坂小学校の宿泊施設化の凍結、再検討について	2
2	横路 政之	庄原中学校の建て替えについて	2
		経済危機対策と我がまちの取り組みについて	3
		地域活性化・経済危機対策臨時交付金について	3
		基金の活用策について	4
		我がまちのスクール・ニューディールについて	5
		女性のがん検診事業について	5
3	小谷 鶴義	検診無料化の取り組みについて	6
		がん検診の受診率について	6
		一体感の醸成について	7
		情報公開について	7
		生活支援対策	7
		職員のボーナスカットは考えないのか	8
4	門脇 俊照	農地法の改正	8
		地域と学校教育	8
		全市をカバーできる情報伝達システムの構築について	9
		地上デジタル放送への対応は	9
5	中原 巧	生活道改善の助成拡大を	9
		障害者と障害者施設への支援を	10
		総領町を通過する国、県道等の整備について	11
		有害鳥獣対策について	13

順位	質問議員	項目	ページ
6	藤山 明春	集落支援員制度活用について	14
		自然エネルギーの導入について	14
		太陽光発電について	15
7	谷口 隆明	平和行政について	16
		水源のまちの責務について	16
		生活交通対策について	17
		東城まちなみ整備事業について	17
8	岡村 信吉	地域活性化、経済危機対策臨時交付金、公共投資臨時交付金及び広島県元気づくり緊急交付金について	19
		水害対策について	19
		自主防災体制の整備を	20
		イノシシ捕獲委託について	20
		東城まちなみ整備事業にかかる三楽荘について	20
9	名越 峰壽	県道改良及び歩道の新設について	21
		20年度基幹産業評価について	22
		21年度基幹産業の方針について	23
10	福山 権二	4月市長選挙の結果について	24
		新庁舎建設の目的について	24
		新庁舎の設備について	24
		高齢者対策について	25
		市内小中学校の要員配置について	26
11	林 高正	庄原市汚水処理構想について	27
		財政健全化に対する基本方針は	28
12	赤木 忠徳	地域活性化、生活対策臨時交付金について	29
		定額給付金について	29
13	宇江田 豊彦	新庁舎駐車場確保について	30
		東城市街地まちなみ拠点施設・道の駅遊YOUさろん東城・三楽荘の機能分担と総合的活用について	31

順位	1	質問者	藤木 邦明	
項目		質問の要旨		答弁を求める者
1. 箱わな、捕獲柵の設置について		(1)イノシシ駆除に有効な箱わな、捕獲柵の支所ごとの設置数はどうなっているのか。 (2)市内に満遍なく設置するよう、もっと増やすべきだと考えるがどうか。		市長
2. イノシシ駆除の徹底について		捕獲できやすい猟期にも捕獲班が自衛駆除の箱わな、捕獲柵を使用して駆除を徹底できるようにすべきだと考えるがどうか。		市長
3. 出産医療の再開等について		(1)市長は「あらゆる手立てを講じて再開する」としてこられたが、いまだに実現していない。どんな取り組みをしているのか。 (2)これまで国が医学生を大幅に削減してきた悪政を抜本的に転換させる国民運動に、市民と力をあわせ全力で取り組むべきではないか。		市長
4. 奨学金制度の創設について		庄原赤十字病院の産婦人科医、小児科医、麻酔科医の確保のため、市独自の奨学金制度を早急に創設すべきではないか。		市長

順位	1	質問者	藤木 邦明	
項目	質問の要旨			答弁を求める者
5. 西城旧三坂小学校の宿泊施設化の凍結、再検討について	(1)ひば道後山高原荘の昨年度の月別の宿泊者数はどうなっているのか。 (2)旧三坂小学校を宿泊研修施設にしても夏季の限られた期間の利用しか考えられず、凍結、再検討し、民宿の活用等で対応すべきではないか。			市長
6. 庄原中学校の建て替えについて	少人数学級に対応できるよう、必要な教室数を確保するよう求めたことに対し、「長期的な教育視点をしっかりと踏まえ、校長や関係者の意見を聞きながら取り組む」としてこられたが、検討の結果はどうなっているのか。			市長 教育長

順位	2	質問者	横路 政之	
項目	質問の要旨			答弁を求める者
1. 経済危機対策と我がまちの取り組みについて	<p>このたび政府において、平成 21 年度補正予算が成立した。今回の補正予算は、経済危機対策としての裏づけとなる予算であり、また大きな特徴として、これまでと比べ地方の財源措置が拡充されていることだ。地域経済の活性化のためにも、今回の政府の経済危機対策をフルに活用し、我がまちの活性化につなげていく必要があると考えるが、考えを伺う。</p>			市長
2. 地域活性化・経済危機対策臨時交付金について	<p>(1)この予算の平成 21 年度補正計上額は 1 兆円で、広島県に 80 億円、市町に 160 億円が交付されることになっている。本市には約 12 億円が交付される予定だが、これは新しい事業の実施計画を策定、予算化されないと交付されない。事業例としては、①地球温暖化対策、②少子高齢化社会への対応、③安心・安全の社会の実現、などが挙げられる。早急にその施策を検討し、実施計画を策定する必要があると思うが、考えを伺う。</p> <p>(2)なお①については、一般住宅への太陽光発電の本市としての補助、また③では、洪水ハザードマップの作成・公表が考えられるが、考えを伺う。</p>			市長

順位	2	質問者	横路 政之	
項目	質問の要旨			答弁を求める者
3. 基金の活用策について	<p>今回、拡充された基金が、緊急雇用創出事業基金など5、新設されるものが地域グリーン・ニューディール基金など9、計14となっている。基金が創設された理由としては、実施する事業が複数年にわたるためのようであり、この基金の活用については各自治体の意欲によるところが大きく左右するようだ。我が市としてもさまざまなアイデアを出しながら積極的にこの基金を活用し、地域の活性化を図っていかねばならないと思う。県に対しても積極的に情報を得るなどの対応をしていく必要があると思うが、考え方や決意を伺う。</p>			市長

順位	2	質問者	横路 政之	
項目	質問の要旨			答弁を求める者
4. 我がまちのスクール・ニューディールについて	<p>スクール・ニューディール構想とは、学校施設における耐震化とエコ化、情報化を集中的に推進しようとするものだ。本市としての取り組みについて伺う。</p> <p>(1)小中学校での太陽光発電パネル設置への取り組みについて</p> <p>(2)小中学校での芝生化への取り組みについて</p> <p>(3)小中学校の耐震化の進捗状況と前倒しでの取り組みについて</p> <p>(4)校内LANや電子黒板、デジタルテレビの設置状況と今後の取り組みについて</p>			教育長
5. 女性のがん検診事業について	今年度、市町村のがん検診事業を支援する地方交付税が大幅に増額された。がん検診の効果や必要性などの情報提供にどのように取り組んでいるのか伺う。			市長

順位	2	質問者	横路 政之	
項目	質問の要旨		答弁を求める者	
6. 検診無料化の取り組みについて	<p>新経済対策では、子宮頸がんは 20 歳から 40 歳まで、乳がんは 40 歳から 60 歳までの間、それぞれ 5 歳刻みの対象者の検診の無料化が打ち出されている。我がまちの取り組みについて伺う。</p>		市長	
7. がん検診の受診率について	<p>国が平成 18 年度に策定したがん対策推進基本計画では、平成 23 年度までにがん検診の受診率を 50% 以上にするとの目標を定めている。我がまちの今後の取り組みについて伺う。</p>		市長	

順位	3	質問者	小谷 鶴義	
項目	質問の要旨			答弁を求める者
1. 一体感の醸成について	庄原市的一体感の醸成をめざし合併後4年間、市として市長・議会・職員は頑張ってきた。考え方の違う人、生活習慣の違う地域、過疎、少子高齢化等、確かに一体感の醸成は当然と思うし、市長も何回も議会において大きく取り上げ、4年間に掛ける思いを訴えてきた。しかし、合併後4年間、思うような成果は見えなかったと思う。これから4年間、どのような方法で一体感の醸成を進めようとするのか、具体的に市の方針を伺う。			市長
2. 情報公開について	情報公開が市長の公約だが、過去4年間と同じ考え方でいくのか。			市長
3. 生活支援対策	今、学校で要保護・準要保護世帯が1割になろうとしているとの報告がある。 (1)市長は、この現状をどう見られるか、感じられるか、率直な思いを伺う。 (2)各地域の実態調査等はしているのか。 (3)補正予算の12億円は経済対策・生活支援対策となっているが、生活支援に対する支出方法・対策等、新年度への繰越分、また新規補正予算で生活支援対策は組めないのであるのか。			市長

順位	3	質問者	小谷 鶴義	
項目	質問の要旨			答弁を求める者
4. 職員のボーナスカットは考えないのか	他市においては 0.2 力月位のカットが新聞・テレビで報道されているが、市としての考えを伺う。			市長
5. 農地法の改正	(1)農地法の改正により、現在、農業に取り組んでいる人へ影響があるのか。 (2)農地利用集積により非農家が増え、後継者のいらない集落が多くなった。集落の維持機能や集落のコミュニティもなくなり、集落再編を余儀なくされてきた。自立している農業者はほんのわずかだ。地域の疲弊は周辺部の山奥から進んでいる。農地法の改正は、農業意欲を失わせるのではないか、希望を持てないのか、法の番人である農業委員会として検討されているのか。			農業委員会会長
6. 地域と学校教育	学校評議員の選考は、誰が何を基準に選考されているのか。			教育長

順位	4	質問者	門脇 俊照	
項目	質問の要旨			答弁を求める者
1. 全市をカバーできる情報伝達システムの構築について	<p>昨年、念願であったA D S Lが私の地域でも使用可能となり、携帯電話とあわせると情報・連絡が格段に早くなり、便利になった。</p> <p>しかし、高齢者の多くはパソコンも携帯も使用されない人が多いのが現実だ。</p> <p>情報はテレビが多く、全国のことはわかるが庄原市のことことがわからないと言われる。</p> <p>本市の広報紙は充実していて他市に誇れるものだが、緊急性がなく、連絡には不向きだ。</p> <p>(1)本市でも地域によって利用されている有線放送や防災無線を導入する考えはないか。</p> <p>(2)また、高齢者のひとり暮らしの安否確認ができるシステムを導入する考えはないか。</p>			市長
2. 地上デジタル放送への対応は	後2年でテレビのアナログ放送が終了するが、新しく始まる地上デジタル放送は全世帯で視ることができるのか。			市長
3. 生活道改善の助成拡大を	<p>集落や家によっては、道幅が狭く、緊急車両、衛生車、宅配便の車が進入できない道がある。</p> <p>生活道改善の助成拡大はできないか。</p>			市長

順位	4	質問者	門脇 俊照	
項目	質問の要旨			答弁を求める者
4. 障害者と障害者施設への支援を	<p>昨今、政府の考えが、非力、弱者からもお金を徴収するようになってきている。これまで細々でも生活・運営して来ていた障害者や障害者施設が障害者自立支援法により窮地に追い込まれている。障害者は、これまで所得に応じた負担から定率での負担により負担が増えたり、通所施設の利用や食事に利用者負担が必要となり、その額が工賃を上回る事態が生じている。施設運営においては、その月の登録人数に応じた報酬から、実利用者・実利用日数に応じた報酬に変わり、これにより作業所などは収入が減り、職員の確保が難しくなっている。一般企業でも仕事がない中で、これまで作業所でやっていた仕事は激減し、作業日数も少なくなっている。仕事がない作業所はただの集会所になり、通所者も減る原因にもなる。</p> <p>他市においては行政で行っている軽作業、例えば定額給付金の封書張りや管理している施設の清掃などを作業所に出したり、仕事の斡旋をしたりされている。本市においてもできないか伺う。</p>			市長

順位	5	質問者	中原 巧	
項目	質問の要旨			答弁を求める者
1. 総領町を通過する国、県道等の整備について	(1)県道中領家庄原線の整備について ①秋山前議員に対する答弁で、野谷工区が完成後、田尻工区約3,000mを整備区間として要望し、現在事業継続として位置づけられている五箇工区の進捗率が上がるような予算配分を県に強く要請していくとあったが、平成21年度においては、答弁をされた事項がどのように予算化され、実施されようとしているのか。 ②昨年の事業費1,000万円で待避所12カ所を設置したこと、当分整備を見合わそうとしているのではないかと危惧しているが、継続して事業が実施されるのか。 (2)緑資源幹線林道支線高尾小坂線の整備について 今年度に入り、どのように整備方針が決定され、いつからどのような手法で整備に着手され、関係市町並びに関係住民にこのことを周知されようとしているのか。 (3)国道432号の整備について 旧総領町時代、国道432号の歩道が未整備であるため、県の河川管理道を借り上げて整備し、その後通学路として指定、利用していた町道から、児童が帰宅途中に積雪のため県管理河川に滑落し、尊い人命が失われた。こ			市長

順位	5	質問者	中原 巧	
項目	質問の要旨			答弁を求める者
1. 総領町を通過する国、県道等の整備について	<p>の事故を教訓にされ、安全な歩道の整備を強力に要望される気持ちはあるのか。</p> <p>(4)主要地方道甲山甲奴上市線と三良坂総領線の整備について</p> <p>①甲山甲奴上市線の整備をどのように推進され三次市及び府中市、並びに世羅町との広域連携を図ろうとされているのか。</p> <p>②三良坂総領線の歩道整備についてどのように対応され、痛ましい事故が発生することを未然に防止されようとしているか。</p> <p>(5)一般県道高光総領線の整備について 一部未改良区間があり、大変危険な状態にある。どのような事情があるにせよ、事故がある前に速やかに事業を実施されるよう、どのように要望されているのか。</p>			市長

順位	5	質問者 中原 巧	
項目	質問の要旨		答弁を求める者
2. 有害鳥獣対策について	(1)イノシシ対策について 庄原市の基幹産業である農業をさらに振興させ、耕作放棄地の拡大を防ぐため、庄原市で既に実施されている助成事業やバッファゾーンの整備などの具体的な方策と併行して、平成20年度鳥獣被害防止計画に記述されている広域的な防除を1日も早く実践されると同時に、捕獲奨励金等の増額や狩猟免許取得助成、集落単位での防止講習会の開催等を実施など、あらゆる手段を講じて被害防止に努める計画があるか。 (2)カワウ、サギ類対策について ①今月上旬から庄原市鳥獣被害防止計画に基づき総領町で銃器による駆除を何回も実施されたようだが、その成果はどのようなもので、どのような課題が見つかったのか。 ②最も駆除効果があるとされた銃器による駆除は広範囲で、しかも一斉駆除することが最も効果があるとされているが、近隣市町、場合によっては県境を超えてこの取り組みを実施することが必要とされているが、どのように対応していくのか。		市長

順位	6	質問者	藤山 明春	
項目	質問の要旨			答弁を求める者
1. 集落支援員制度への取り組みについて	<p>集落支援員とは、過疎地域の集落機能維持などのために、総務省が平成20年度に過疎対策の切り札として創設したものだ。各自治体が非常勤の嘱託職員として採用し、費用は国が特別交付税を配分して負担する、とある。</p> <p>神石高原町では、県内の自治体では初の採用と4月下旬の新聞に出ていたが、過疎地域が多く存在する庄原市としても、集落支援員制度の活用は急ぐ必要があると考えるが、市の現在の取り組み状況を伺う。</p>			市長
2. 自然エネルギーの導入について	<p>私は、昨年9月の定例議会一般質問で、地球温暖化対策について質問をし、その中で岩手県北部にある葛巻町を紹介した。人口約8,000人の町だが、風力発電をはじめ太陽光発電や牛糞バイオマスシステム、間伐材のチップを利用した木質バイオマスガス化発電、木質ペレットボイラーやストーブなど、自然エネルギー設備があちこちにつくられ、町内消費電力より発電量が多く、単純計算で電力自給率は160%であった。4月21日の新聞に、太陽光発電、市役所が導入という記事が目にとまり、その横に来年度廿日市市とあった。同市は、新エネルギー導入に向けた市・</p>			市長

順位	6	質問者	藤山 明春	
項目	質問の要旨			答弁を求める者
2. 自然エネルギーの導入について	地域新エネルギービジョンを策定、効果を見極め、市役所が率先して省エネ化を進め、新エネルギーの活用も考えていくとしている。新庁舎へ太陽光発電を取り入れ、光熱費の節減と地球温暖化や環境問題への発信をと昨年9月に質問したが、答はノーだった。今、CO ₂ を減らし地球温暖化を防ごうと、多くの国が取り組んでいる。庄原市としても、木質ペレットボイラーやストーブと共に、太陽光発電など自然エネルギーにも力を入れ、石炭火力発電が占める割合を減らす努力が求められていると思うが、基本的考え方を伺う。			市長
3. 太陽光発電について	(1) 庁舎屋上への太陽光発電パネル設置は、設置費用以上の大きなメリットがあると考えるが改めて考えを問う。 (2) 国の助成があると聞いているが、その内容を伺う。 (3) これから啓発はどうされるのか。 (4) 庄原市内で太陽光発電は何戸ぐらい設置されているか。			市長

順位	7	質問者	谷口 隆明	
項目	質問の要旨			答弁を求める者
1. 平和行政について	米大統領としてはじめて核兵器のない世界を追求することを国家目標とすると宣言した4月5日のプラハでのオバマ大統領演説、それに対する日本共産党志位委員長の4月28日の書簡、米国政府からの「この問題に対するあなたの情熱をうれしく思う」との評価を添えた日本共産党への返書(5月16日)。今、平和が進歩の方向へ世界もアメリカも大きく変わろうとしている。平成32(2020)年までに核兵器の廃絶を訴える平和市長会議の加盟自治体として、核兵器廃絶の世論づくりの先頭に立つべきだと考えるが、市長の所感・決意を伺う。			
2. 水源のまちの責務について	中国山地の分水嶺の自治体として、豊かな自然と水源を未来に残すことは、庄原市民の安全・安心はもとより、下流自治体にとっても大切な問題だ。3月議会でも質問したが、「水道水源保護条例」など可能な対策を執ることは、源流のまちの責務だと考える。改めて質問する。			

順位	7	質問者	谷口 隆明	
項目	質問の要旨			答弁を求める者
3. 生活交通対策について	<p>生活交通バスが入らない交通空白地域を対象に市民タクシー運行事業の実証実験が予定され、新しい試みへの挑戦は大いに評価したい。しかし、自治振興センターへの移行を検討中の地域での実証実験には無理があるのではと考える。やはり旧市町単位でのデマンド交通がベストだと考える。全国的にもデマンド交通が急増しており、各地の先進例を参考に、今一度再検討すべき課題だと考えている。この問題も改めて質問する。</p>			市長
4. 東城まちなみ整備事業について	<p>(1)まちなみ整備事業という一事業を市広報で異例の特集を組んでいる。住民が求めているのは一方的な広報ではなく、ひざを交えた説明だ。せめて市街地の各自治振興区ぐらいには説明すべきと考える。また、国の臨時交付金がある今しかできないと言われるが、これだけ価値があるなら十分検討・計画し、通常予算で対応してしかるべきではないか。</p> <p>(2)三楽荘の土地購入などの事務は、問題なく進んでいるのか。</p> <p>(3)古い町屋としてなるべくそのまま修繕・保存、活用してこそ価値あるのではないか。</p> <p>(4)登録有形文化財の指定を受け、内部を改装</p>			市長

順位	7	質問者	谷口 隆明	
項目	質問の要旨			答弁を求める者
4. 東城まちなみ整備事業について	<p>すれば町屋としての歴史的価値が下がることはないのか。</p> <p>(5)今後、市民の意見を聞きながら活用方法をまとめると言われるが、どう活用したいのか、基本的な考えを問う。</p> <p>(6)改修費への有利な補助金は何を想定しているのか。</p> <p>(7)三楽荘の活用をするのなら、拠点施設は再検討すべきだ。商店街の活性化のためにも、市民の暮らし営業を守る施策に予算をシフトすべきと考える。市街地中心地の近所に2カ所も拠点施設を配置するなど、厳しい営業と生活に追われる市民の理解は得られないと考える。空き店舗の有効利用など、今ある資産の有効活用をはかるべきだと考えるが、どうか。</p>			市長

順位	8	質問者 岡村 信吉	
項目	質問の要旨		答弁を求める者
1. 地域活性化、経済危機対策 臨時交付金、公共投資臨時交付金及び広島県元気づくり緊急交付金について	<p>(1)各臨時交付金、緊急交付金の基本的な活用方針について伺う。</p> <p>(2)3月補正予算で議決された20年度地域活性化・生活対策臨時交付金の活用等に関し、実施すべきもので積み残しはないのか。</p> <p>(3)臨時交付金であり、特に遅れている市道改良、老朽化した市営住宅改修への積極的な活用は考えられないか。</p> <p>(4)財政指標は少しづつ好転するも、自主財源不足の中で、毎年基金取り崩しによる予算編成を余儀なくされている。財政健全化に向けての基金へ積み立てて活用することは考えられないか伺う。</p>		市長
2. 水害対策について	<p>(1)集中豪雨等発生の場合において、市内各地域における避難場所の特定、また避難体制が確立された状況にあるのかどうか伺う。</p> <p>(2)災害発生時の行政の危機管理部署、避難指示部署が複数課にわたっていると認識している。災害現場の混乱を想定するとき、また安全非難のためにも行政における指示体制部署は統一する必要があると考えるが、いかがか。</p>		市長

順位	8	質問者	岡村 信吉	
項目	質問の要旨			答弁を求める者
3. 自主防災体制の整備を	過疎化、高齢化が進行している本市の災害対策として、各地域における自主防災体制の組織づくりが必要と考えるが、所見を伺う。			市長
4. イノシシ捕獲委託について	捕獲委託については、要綱で定められているが、山間地においてのイノシシ被害は年々増大する状況にあり、特に捕獲班機能のより拡充が求められている。このためには、委託料、捕獲報酬金等の見直しも必要と考えるが、いかがか。			市長
5. 東城まちなみ整備事業にかかる三楽荘について	建物の老朽化、とりわけ屋根の痛みはひどく、幹線道路に面していることから事故防止のためにも、緊急な修繕が必要と考える。この点について見解を伺う。			市長

順位	9	質問者 名越 峯壽	
項目		質問の要旨	答弁を求める者
1. 県道改良及び歩道の新設について		<p>平成 22 年度からの学校再配置に伴い、小奴可小学校と内堀小学校が一緒になる。そして小奴可保育所も平成 23 年から小学校の近くに移転する予定だ。保育所・小学校は一般県道、下千鳥小奴可停車場線の小奴可駅近くにあるが、国道 314 号線の交差点から 500m は道路幅 3.3m~3.6m で歩道はなく、まったく未改良区間だ。この県道筋は小奴可の中心部で民家はもちろん、自動車工場・理髪店・JR の駅・ガソリンスタンド・タクシー会社・バスの車庫などがあり、朝夕の通勤・通学時間帯は交通弱者、いわゆる園児、児童、高齢者や障害者の方が通行し、電動車も自動車が来ると避けるのが難しい状態だ。軽自動車同士すら対向車と離合できない。老齢化の進む地域では、事故のない安心、安全な通勤、通学、生活道であってほしいと住民は願っている。この県道改良については、学校再配置が検討された平成 4 年より議員を始め、先輩の方々、小奴可中学校区通学道改良促進委員会、P T A 、各種団体の陳情、要望が行われてきたが、この 500m 区間はいまだ改良の動きが見えない。これまでの経緯及び問題点、そして今後の計画はどのようにになっているのか伺う。</p>	市長

順位	9	質問者	名越 峯壽	
項目	質問の要旨			答弁を求める者
2. 20年度の基幹産業の評価について	<p>平成20年度の施政方針において、農業自立振興プロジェクトと連携を図る中で、農業以外の企業参入支援、生産法人の設立と育成、中山間地域等直接支払制度交付金の効果的活用、新たに期待される農商工連携の実践と述べられた。農林業の関係者は、今後にとっても期待をしているので、具体的に伺う。</p> <p>(1)農商工連携についてその実践と成果についてどのように評価をされているか。</p> <p>(2)企業参入、法人、零細農家、どのように両立されるのか。</p> <p>(3)限界集落とも言われている集落がどれほど元気な農業になりつつあると思われるのか。</p> <p>(4)農家個々の収入 10%アップが目標であったが、所期の目標は達成されているのか。</p>			市長

順位	9	質問者	名越 峰壽	
項目	質問の要旨			答弁を求める者
3. 21 年度の基幹産業の方針について	<p>農業の振興について新規就農の促進と農業後継者を育成するほか、庄原農協と連携して計画的な生産販売体制の強化を図り、基幹産業の復興を推進することのこと、JAと連携について、農林畜産業を営む方々の期待はとても大きいものがある。</p> <p>(1)国の緊急経済対策費が補正予算と新年度でいくら使われるのか。</p> <p>(2)農業後継者の育成について、具体的には。</p> <p>(3)JAとの連携について、具体的にどのように計画、実践されるのか。</p> <p>(4)農業中心の町なのに、農業新聞に庄原の農業振興の記事がとても少ないが、どのように思われるか。</p> <p>(5)中山間地の基幹産業、とりわけ農業について、明日に夢の持てる、期待できる構想、計画を伺う。</p>			市長

順位	10	質問者	福山 権二	
項目	質問の要旨			答弁を求める者
1. 4月市長選挙の結果について	<p>本年4月に実施された市長選挙の結果、滝口市長の再選となつたが、滝口市長の政治方針に批判的な市民の存在も過半数に近い規模になっていることが示された。この市民の声をどのように考察し、生かすとすれば、どのように具体化するのか。</p>			市長
2. 新庁舎建設の目的について	<p>新庁舎が周囲駐車場を残して建設され、業務が新庁舎で開始されたが、新庁舎に関する市民のさまざまな意見、評価がある。新庁舎建設については、市民間に賛否が分かれ、議会も圧倒的多数による同意ではなかつた。新庁舎建設の目的に、職員の労働意欲の向上が示されていたが、この点の目的は達成されているのか、見解を伺う。</p>			市長
3. 新庁舎の設備について	<p>新庁舎には、次の設備が設置されていないが、その理由と今後の方針について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)視力障害者のための点字、線字ブロックの設置 (2)喫煙者のための喫煙場所の設置（庁舎各階） (3)エレベーター設置場所案内誘導表示物 			市長

順位	10	質問者	福山 権二	
項目	質問の要旨			答弁を求める者
3. 新庁舎の設備について	(4)障害者が市庁舎入り口で案内を求める際の表示灯等の設置 (5)総合案内所の継続設置 (6)新庁舎に関する市民アンケート記入場所設置			市長
4. 高齢者対策について	(1)大規模店舗の市内進出により、市中心市街地の小規模店舗の閉鎖が続き、生活必需品、食品等の購入が市内中心市街地では困難になっている。とりわけ、高齢者世帯で交通移動手段を持たない場合、冬季等の事情もあり、野菜等日常生活品の確保でさえ一層困難になっている。市中心部の高齢者世帯が、歩いて日常生活品を購入できる簡易な販売所等の設置を検討すべきではないか。 (2)介護保険制度、後期高齢者医療制度の発足により、その保険料徴収が年金天引きになつたこともあり、高齢者の税に対する関心は高まっている。本市の税徴収の際、税額算定説明文を記載した印刷物を市民に配布しているが、文字が年々小さくなっているとの批判がある。高齢化率の進展に伴い、市が市民宛てに配布する資料の印刷文字の大きさについて配慮が必要だととの意見があるが、見解を伺う。			市長

順位	10	質問者	福山 権二	
項目	質問の要旨			答弁を求める者
5．市内小中学校の要員配置について	<p>市内小中学校の教職員配置現状は、かなり遠距離通勤を前提とする配置が散見されるが、市内小学校、中学校別に、市内出身者数の配置はどのようにになっているか、現状について伺う。</p> <p>(1)遠距離通勤（庄原市外からの通勤）の影響はどのように把握しているか。</p> <p>(2)小中学校の教職員は、最低 50%は同市内出身者が配置されなければ、地域に密着した教育環境がつくれないのでないか。</p>			教育長

順位	11	質問者	林 高正	
項目	質問の要旨			答弁を求める者
1. 庄原市汚水処理構想について	<p>平成18年4月の広報しようとばらに、庄原市汚水処理構想を策定と大見出しで発表されたが、その翌年4月の広報しようとばらには、庄原市汚水処理事業見直しと軌道修正。しかしその後は何の説明もなく、事業は進んでいるのか遅れているのか、はたまた中止となつたのか。私の地域では、平成17年に5年以内には公共下水道に接続できますとの説明会を一度開いただけで、その後はナシのつぶてだ。</p> <p>説明を鵜呑みにしていた方々は、住宅新築を延期したり、住宅改修を2段階で実施しなければならなくなつた人など、深刻な事態に陥っている。しかし、下水道課に伺っても明確な話を聞くこともできず、非常に情けない思いをしている。他市と比較することはいかがかとも思うが、隣の三次市は昨年、国の補助をもらい、汚水基本処理構想を練り直され、生活者重視ということで、積極的に予算もつけられて事業を進めている。</p> <p>(1)本市の下水道整備計画、実施計画を示し、実施計画に対する整備率、整備状況を伺う。</p> <p>(2)さらに今後の庄原市の汚水処理に対する取り組み方を具体的に伺う。</p>			市長

順位	11	質問者	林 高正	
項目	質問の要旨			答弁を求める者
2. 財政健全化に対する基本方針は	<p>現在の庄原市の財政運営は、平成 18 年に策定した持続可能な財政運営プランにより、実質公債費比率を下げるのみに苦心して、借金返済を最優先しておられるように見える。655 億円からの借金を抱えながら事業を行い、どういう手法で財政を健全化されるのか。</p> <p>私の予測では、国からの交付金も減額となり、ますます苦しい台所となるのではないか。平成 27 年からの一本算定により 25 億程度の交付税が減額となることも明らかだ。</p> <p>(1)これから議論されるであろう、職員の適正化問題、各種委託費問題、税収の確保問題をどのように考えておられるのか。</p> <p>(2)市長は、広報しようばら 6 月号の市長に聞くの中で、「家計と同じように、借金をしてでもやるべきことはやらなければいけないと思います」と掲載されているが、やるべきことには、特別枠による起債も可能ということとか。</p>			市長

順位	12	質問者	赤木 忠徳	
項目	質問の要旨			答弁を求める者
1. 地域活性化・生活対策臨時交付金について	地域活性化・生活対策臨時交付金の各課の進捗状況は。			市長
2. 定額給付金について	定額給付金の給付状況を他市と比較してどうなのか。			市長

順位	13	質問者	宇江田 豊彦	
項目		質問の要旨		答弁を求める者
1. 新庁舎駐車場確保について		<p>4月から新庁舎で執務が開始された。本年度は敷地整備、外溝工事、周辺融雪設備工事が施工される予定だ。また関連した市道整備なども含め新庁舎周辺における総合的事業が行われるが、問題は駐車場確保だ。各課が新庁舎に集約されたことから来庁者も増え、公用車も増えて大変厳しい事態だと思うが、実態と対策を伺う。</p> <p>(1)公用車は何台多くなったのか。</p> <p>(2)対策の1つとして、公用車を田園文化センターへ駐車していると聞くが、移動時間のロスが大きく、執務にも影響が出ていると思うが、どのような状況か。</p> <p>(3)新庁舎敷地整備事業と周辺整備事業の順番を熟慮されているのか。</p> <p>(4)利用者から苦情が寄せられていると思うが、どのような実態か。</p> <p>(5)現在、新庁舎駐車場の影響を受け、他の市営駐車場も満車状況となっていると思うが、利用者からの苦情はないのか。</p> <p>(6)庁舎建設調査特別委員会の議論でも職員の駐車場確保も含め、多くの意見が出されたが、特別委員会の調査を踏まえているのか。</p> <p>(7)今後の対策と解消時期はいつになるのか。</p>	市長	

順位	13	質問者	宇江田 豊彦	
項目	質問の要旨			答弁を求める者
2. 東城市街地まちなか拠点施設・道の駅遊YOUNGさるん東城・三楽荘の機能分担と総合的活用について	<p>広報しょうばら6月号の特集記事により、東城市街地まちなか拠点施設と三楽荘の機能分担と関係性については一定の理解ができたが、既に大きく機能している道の駅遊YOUNGさるん東城も含めた関係性について伺う。</p> <p>(1)この3施設の機能分担については、どのように考えているのか。</p> <p>(2)重複した機能を有する施設と思うが、人口規模から見て、将来的に3施設必要と考えているのか。</p> <p>(3)それぞれの利用者数について、どのように考えているのか。(目標も含めて)</p> <p>(4)とりわけ東城市街地まちなか拠点施設と道の駅遊YOUNGさるん東城の機能については重複している内容も多く、将来的にどのようにしようと考えているのか。</p>			市長